



地表下3メートルの縄文世界

おばやしはっそく

久喜市 小林八束1遺跡(第7次)



菖蒲総合支所に隣接する小林八束1遺跡では、小林調節池の改修工事に伴い、発掘調査を行っています。今年度は前年度に引き続き、縄文時代後期（約4,000年前）や古墳時代前期（約1,700年前）の集落が見つかっており、現在は縄文時代の谷を発掘調査中です。

今回、「第24回あやめ・ラベンダーのブルーフェスティバル」の開催に伴い、みなさまに発掘中の縄文時代の谷を見下ろしていただくこととなりました。あわせて、これまでの出土品の中から特選した遺物を展示します。ふだん、なかなかお目にかかることのない縄文世界へご案内します。

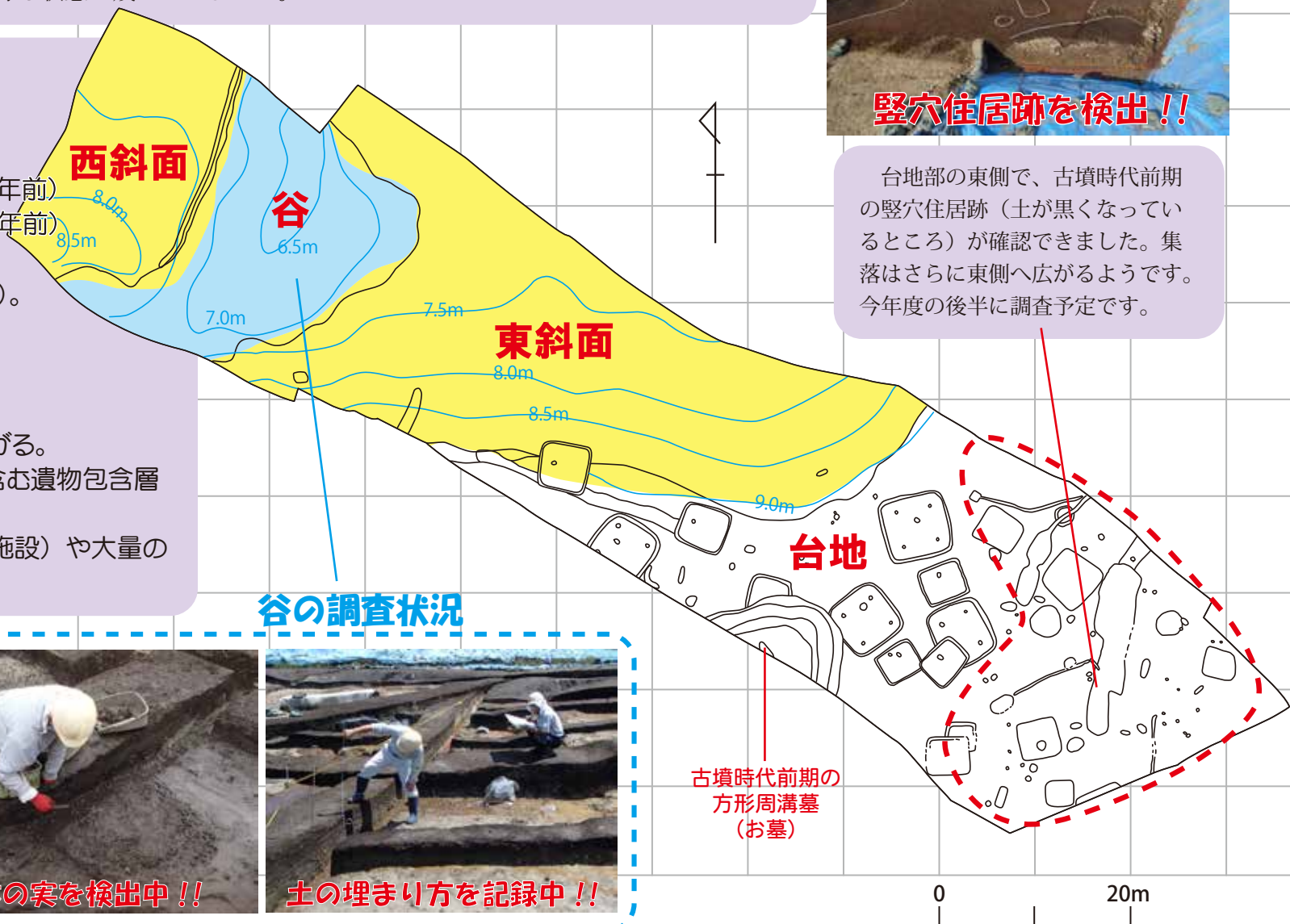


縄文時代の谷、発掘中！！

調査区の西側では、東西斜面の間に谷が入り込み、真っ黒な粘土層が厚く堆積しています。この土層には、縄文時代後期(約 4,000 ～ 3,500 年前)の縄文土器の破片や石器が大量に含まれています。また水分を含む土層に覆われていたため、木材や木の実(トチ・クルミ等)が腐らず良好な状態で残っていました。

【小林八束 1 遺跡の概要】

- ◆遺跡の面積：約 48,000 m²
- ◆調査面積：約 4,430 m²
- ◆主な時代：縄文時代後期(約 4,000 年前)
古墳時代前期(約 1,700 年前)
- ◆調査区の地形
東側は標高の高い台地部(海拔約 10m)。
中央より西側は北向きの斜面地。
西側では東西斜面の間に谷が入り込む。
- ◆遺構や遺物の発見状況
台地…古墳時代前期の集落や墓域が広がる。
斜面…縄文時代後期の土器片を大量に含む遺物包含層が形成されている。
谷…古墳時代前期の水場遺構(木組施設)や大量の木製品や木材が発見された。



竪穴住居跡を検出！！

台地部の東側で、古墳時代前期の竪穴住居跡(土が黒くなっているところ)が確認できました。集落はさらに東側へ広がるようです。今年度の後半に調査予定です。

谷の調査状況



谷の土層を掘削中！！



木の実を検出中！！



土の埋まり方を記録中！！

古墳時代前期の
方形周溝墓
(お墓)

12000年前

4000年前

1700年前

旧石器	草創期	早期	前期	中期	後期	晩期	弥生	前期	中期	後期	飛鳥 奈良	平安	鎌倉	室町	安土桃山	江戸	明治	大正	昭和	平成
-----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----------	----	----	----	------	----	----	----	----	----

縄文時代

古墳時代